

下野尻自治区 町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成 29 年 5 月 31 日（水） 午後 6 時 30 分～7 時 50 分

2. 対象地区・団体

下野尻自治区

3. 開催会場

下野尻集会所

4. 代表者・参加者

長谷川誠自治区長、参加者計 22 人

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤要一郎、企画情報課長 矢部喜代栄、建設水道課長 成田信幸、農林振興課長 玉木周司、企画情報課課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 武藤洋一

6. 自治区長あいさつ 長谷川誠 下野尻自治区長

本日は、お忙しいところ下野尻自治区の町政懇談会に出席していただきましてありがとうございます。今年度、町で取り組む主な事業を聞かせていただいた後に、自治区から 6 項目の質問を出させてさせていただいております。町からの回答の後に、皆さんから常日頃から感じていることなど話していただければと思いますので、よろしくお願いします。

7. 町長あいさつ及び町政方針説明

平成 29 年度の町政執行方針については、資料のとおりとなっておりますが、その中から最近の町の状況や重点的な事業につきまして説明します。

はじめに、道の駅整備について、国が整備を進めていた道路情報の提供や 24 時間利用できるトイレを備えた情報提供施設が完成し供用を開始したこと、道の駅の来場者が年間 30 万人から 50 万人に増えていることから、その来場者を野沢のまちなかへ誘客するために、野澤宿ポケットパークを整備し 4 月末に完成したこと、野沢駅前通りの近くの旧野沢幼稚園跡地に公園を整備し、たかはし桜公園として 6 月 4 日にオープンすることなどについて説明。

道路整備について、奥川地区から野沢地区を結ぶ縦貫道路について、最大の難所である橋屋橋の架け替え工事について、上部工の架設工事が進められており、平成 30 年 3 月末までに完成することについて説明。

子育て環境について、西会津町こゆりこども園が 4 月に開園し、これまでの保育所と幼稚園の制度を取り入れた定員 200 名規模の施設が完成し、今年度は 140 名が入園したこと、保育料について、これまでの同時入所の 2 人目以降の無料に加え、今年度より第 1 子目から半額としたこと、こども園の整備が完了し、小学校、中学校と合わせ、周辺一帯が総合教育ゾーンとして確立されたこと、更には小中一貫教育を平成 30 年度から進められるよう取り組んでいること、今年度、小学校にプールを整備することなどについて説明。

生活環境については、水道事業を屋敷地区において整備していくことについて説明。

産業と仕事については、地方創生の取り組みの中で、新しい産業として若い生産者が菌床きのこ栽培に取り組んでおり、今年度は森林資源を活用した菌床培養施設の整備を行うとともに、雇用の確保につなげていくこと、農業政策では来年度より米の生産調整が終了することにより、反あたり

7,500 円の米の直接支払い交付金も終了してしまうことからしっかりとした農業施策に取り組んでいくこと、今後は集落営農についても進めていくことなどについて説明。

役場庁舎の移転について、小学校の統合により耐震化工事がされ空き校舎となっている旧野沢小学校の校舎を役場庁舎として利用するため、総額約 9 億円規模の予算で平成 30 年度の完成を目指して工事を進めていること、財政的には一般会計から切り離して庁舎整備基金で対応していることなどについて説明。

防災について、防災行政無線のデジタル化を年度別計画に沿って整備をしていく中で、屋内において放送が聞こえにくい状況であったものが、ケーブルテレビと連動させ屋内にいても防災行政無線が聞こえるよう、情報連絡のシステムを整備することについて説明。

集落と雪対策について、山間部の自治区では高齢化や一人暮らし世帯が増えており、冬期間において宅地回りの除雪作業や屋根の雪下ろしに苦労している状況であることから、高齢者生活支援ハウスのような、冬期間は共同で生活できるような場所を、各地区ごとに整備できるよう考えていくことなどについて説明。

福祉と介護、健康づくりについて、今年度策定する第 7 期介護保険事業計画の中で、町内の施設を利用しやすいような検討を行っていくこと、健康を維持することで、医療費や国保税などを抑えられることから、健康がいちばんとして、健康づくり事業に取り組んでいることなどについて説明。

8. 地域課題等について

自治区から事前に提出された地域課題等に対して、それぞれ課題ごとに担当課長より回答。内容は次のとおり。

(1) 消雪パイプ工事の完成について

【趣旨】

県道上郷下野尻線について、上野尻境から下野尻中央付近まで消雪パイプが昨年稼働しましたが、残りの区間の完成についてはいつ頃になりますか。

【回答】

本県道の消雪パイプは井戸の掘削が完了し、パイプ布設が完了した佐原氏宅前から旧群岡小学校までの区間を昨年度に稼働しております。施工しています福島県喜多方建設事務所によると、残りは第 6 工区と第 7 工区の計 192m があり、平成 29 年度は第 6 工区の 144m を整備する予定とのことであります。残り第 7 工区は平成 30 年度に完了予定とのことでありますが、町では早期完成に向け、喜多方建設事務所に要望してまいります。

(2) 町道下野尻北裏線道路改良工事（消雪工事含む）について

【趣旨】

町道下野尻北裏線道路改良工事については、昨年度に道路の視察や地権者との説明会を実施していただきましたが、進捗状況と今後の計画について説明をお願いします。

【回答】

本路線は、自治区より要望をいただいた後、町実施計画に計上し進めております。昨年度の説明会では、早期に整備する方法として、修繕工事でも対処できる事を説明いたしました。しかし、下野尻自治区の意向は改良であることから、本年度から国の交付金を活用し改良事業に着手いたします。

現在、測量・設計を発注しており、今後その作業を進めていきます。次年度以降も継続し整備を進めていきます。

(3) 町道下野尻端村線について

【趣旨】

町道下野尻端村線への消雪パイプの整備をお願いします。

【回答】

本路線は改良済みの町道で、冬期間は機械除雪で対応しています。幅員もあり十分に除雪対応ができておりますので、現在のところ消雪パイプを施工する考えはありませんので、ご理解いただきたいと思います。

(4) 町道下野尻宝川線の車峠について

【趣旨】

雪解け後や大雨により、路盤が洗われ通行不能になるため、毎年自治区において水土里事業により砂利敷などの管理を行っています。集落から堤までの間について道路の整備（側溝敷設や舗装）をお願いします。

【回答】

本路線については、勾配がきつく屈曲も多いことから、融雪時や梅雨時には洗掘され、そのたびに下野尻自治区で修繕いただき、傷みがひどい時は町も重機等により修繕をしています。

質問にあるよう本路線は、下野尻の琵琶ノ沢堤（ため池）の管理に利用されています。従いまして、農道的な維持管理のため軽トラック等が通れるよう、勾配の急な箇所には土砂流出を防ぐ木製横断溝を布設し、路面の洗掘防止を図ってまいります。

(5) 琵琶ノ沢堤（ため池）について

【趣旨】

町道下野尻宝川線沿いにある琵琶ノ沢堤について、年々土砂が堆積してきたことで堤が小さくなってきており、水田へ引くための水量も少なくなっています。堤（ため池）等の土砂を取り除くような事業があれば教えてください。

【回答】

ため池の管理者は西会津町土地改良区となっていることから、土地改良区と実施可能な国・県の補助事業を検討してみましたが、事業の採択には受益面積 20 ヘクタール以上等の条件があり、琵琶ノ沢ため池の受益面積は 9 ヘクタールと小さいため該当する補助事業はありませんでした。しかし、本ため池は、多面的機能支払交付金事業において管理するため池となっていることから、水・土・里事業の重点事業を活用することができます。これまで他地区のため池においても、同事業により人力及びバックホウ等を使って、ため池の土砂払いを実施したことがあることから、土地改良区へ実施方法等を相談いただきたいと思います。

(6) 有害鳥獣対策について

【趣旨】

有害鳥獣対策のうち、サル・クマについては以前から対策を講じていただいておりますが、イノシシについては、昨年度自治区内で目撃情報が寄せられたことがありました。イノシシの対策はどのようにすれば良いのか教えてください。

【回答】

本町では、平成23年に尾野本の上谷地区で、初めてイノシシによる農作物被害が発生して以降、年々被害地域が拡大し、現在は町内の5地区すべてで被害が発生しており、昨年は初めて、下野尻地区にも出没したとの報告を受けております。その生態ですが、オスは単独で行動しますが、メスは子供や姉妹と群れを作り、毎年2~7頭ほど出産します。また、特徴としては、警戒心が強く、臆病で注意深く、あまり人前に姿を現さない反面、いったん慣れると大胆不敵になり、鼻は敏感で、跳躍力に優れ、学習能力が高いと言われています。

イノシシ対策としては、①イノシシが嫌がる環境づくり。②田や畑を効果的に囲う防除対策。③捕獲・駆除、これらを組み合わせて実施することです。

地区の皆さんにお願いしたいのは、1点目のイノシシが嫌がる環境づくりで、生ごみや野菜くずは田畑や山際に捨てない。収穫の終わった野菜や残渣を畑に残さないなどイノシシのエサとなるものを作らないことです。また、休耕地や耕作放棄地はイノシシの格好の寝床やヌタ場となったり田畑の侵入口となるので、草刈りなど適正な管理が重要で、田畑の周りの藪を2~3m刈り払うだけでも効果があります。2点目の田や畑を囲う防除対策は、トタン柵やワイヤーメッシュ柵、電気柵等で囲ってイノシシを侵入させないことです。特に電気柵は、適切な維持管理を行えば侵入防止効果が高く、サル対策の場合だと6~7段必要ですがイノシシの場合だと3段で十分なので安価にできます。いずれの対策も個人の対応では効果が低く、共同で取り組むことにより効果が高くなります。

これらと合わせ、町ではパトロール員による巡回と状況により、オリやワナによる捕獲・駆除を実施していきますので、対策にご協力をお願いします。

9. 意見交換等

[質問等]

県道上郷下野尻線の消雪パイプ設置工事につきまして、昨年度は年度途中に変更があり整備延長が伸びたことから、今年度の延長を考えると全部整備できてしまうのではないのでしょうか。

[町]

建設事務所に確認したところ、今年度の予算の確保状況で実施可能な延長で計画したところであり、年によっては年度途中で補正予算が組まれたりするため、昨年は工事区間が延長されたところでもあります。今年度は、現時点では補正予算や追加工事は見込まれていないため当初の延長で整備することになっているところでもあります。

[質問等]

町道下野尻北裏線につきまして、国の補助で進めるとのことではありますが、消雪パイプも含めての事業でしょうか。

[町]

今年度から測量設計に着手する計画としており、図面を作成してから地元の皆さんと協議を進めることとしております。基本的には道路拡幅のための道路改良事業となっており、消雪パイプの設置事業は雪寒事業として別な事業となっておりますので、今回の整備には消雪パイプは入っておりませんのでご理解いただきたいと思います。

[質問等]

町道下野尻端村線につきまして、比較的側溝も整備されていますが、下野尻自治区の中では今後も家屋が建つ可能性のある場所でもあることから、機械除雪だけでなく将来的には消雪パイプの整備をお願いします。

[町]

この路線につきましては、業者へ委託して除雪作業を行う路線であり、除雪作業としては、幅員もあり雪押し場もあるので他の路線に比べると困っている状況ではないと思います。消雪パイプの整備につきましては、将来的に長い意味での検討材料にさせていただければと思います。

[質問等]

町道下野尻宝川線につきまして、自治区でも補修作業などに大変苦勞しております。人足でも実施しているところではありますが、毎年、町に修繕を行っていただいているところでもあるので、抜本的な対策をお願いします。

[町]

毎年、草刈りや修繕作業など自治区の皆さんにご協力をいただきまして、ありがとうございます。今年度は、先に説明したとおり木製横断溝を敷設させていただくことで、ある程度洗掘は防げると思いますが、その後の対策は状況を確認したうえで対応したいと思います。

[質問等]

琵琶ノ沢ため池につきまして、土砂が3分の2くらい体積した状態であり、水土里事業で実施するかどうか検討しましたが、受益者負担が大きいことが予測されたため実施はしませんでした。水土里事業の他に何か良い方法がないでしょうか。

[町]

国の補助事業では、条件として受益面積20ヘクタール以上、更にため池からさらった土砂の客土が必要となっているところであります。

国の補助事業に関係なく、基本的には土砂をバックホウなどでさらって排除する作業が必要であると思いますので、土地改良区とも現地を確認しながら対応策を考えていきたいと思います。

[質問等]

有害鳥獣対策について、最終的には捕獲をしないと対策にならないのではないかとと思うのですが、繁殖しないうちに対策として捕獲をお願いしたいと思います。

[町]

今年1月から3月までの間に町内では17頭のイノシシを捕獲しております。町内では平成21年からイノシシが捕獲されるようになり、これまで合計57頭を捕獲したところであります。このように捕獲はしているものの繁殖力が強く、警戒心も強いことから夏場の捕獲実績はない状況であります。箱罠を仕掛けても入らない、くくり罠を仕掛けても掛からないなど、冬期間のみで57頭を捕獲したところであります。

本町では、猟友会の高齢化が進んでいない状況で、若い方も猟友会へ入るなど平成28年度は初めて会員が3人増えたところであります。猟友会の協力を得ながら捕獲に関しては努力してきたと考えておりますのでよろしくをお願いします。

[質問等]

消雪パイプの整備について、具体的には佐原さん宅前からどのあたりまで整備されるのか教えてください。

[自治区長]

先日、建設水道課へ出向き確認してきたところ、佐原さん宅前から塚原さん宅前あたりまでの区間の工事であると聞いております。

[質問等]

町道下野尻宝川線について、今年度は横断溝を試みに設置をしてみるところではありますが、路肩への側溝の敷設など抜本的に排水設備を整備することが必要であると考えますが、そのような対

策はできるのでしょうか。また、国道 49 号が通行止めになった時のう回路や、歴史的な経過を踏まえて越後街道の車峠として茶屋の整備などが必要になってくるのではないかと思います。

[町]

現在の側溝は土側溝であり、路肩決壊や土砂崩れなどの恐れがあれば補修で対応することとしておりますが、今年度は木製横断溝の敷設し洗掘状況を確認することとしております。また、越後街道としては、観光交流協会で行っているイベントなどもあるので、状況を判断しながら対応していきたいと思っております。

[質問等]

町道下野尻宝川線は勾配がきついために大雨が降ると、道路中央の砂利が流されてしまいます。道路の路肩には土側溝がありますが、過去に土側溝の土砂を路肩に上げてしまったために、道路と土側溝の間に壁が出来たようになり路面の排水が土側溝に入らず路面を流れるようになってしまったと思われまます。横断溝の設置などを実施するのであれば、一緒に路肩の土砂も重機で片づけていただけないでしょうか。

[町]

現地を自治区長さんや役員さんと現地を確認させていただいて対応したいと思っております。

10. 閉会のあいさつ

町政懇談会にて出された意見や要望については、保留せずきちんと回答するようにしており、できるものから早急に対応させていただくほか、県の事業につきましては、現状を伝えて早期に実施してもらえよう要望していきたいと思っております。

今日出された意見につきましては、しっかりと対応をさせていただきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いし閉会のあいさつとします。本日はありがとうございました。